

北海道洞爺湖サミットへの取り組みについて

2008年7月、環境問題を主要テーマとするG8サミット（首脳会議）が北海道で開催されます。
当社は、昨年7月に社長をトップとする「北海道洞爺湖サミット支援対策本部」を設置し、サミットにおける電力の安定供給・設備保全対策やさまざまな応援事業に取り組んでいます。

電力の安定供給・設備保全対策

首脳会議場（北海道洞爺湖町）および国際メディアセンター（北海道留寿都村）をはじめとするサミット関連施設への電力の供給対策として、供給系統の多重化などの工事を実施しているほか、期間中における十分な供給力の確保、設備の保守・点検強化を行っていきます。なお、期間中は、1日約600名のほくでんグループ社員がこの任務にあたります。

こども向け体験学習

■『ほくでんこども環境クエスト』～学ぼう、遊ぼう！自然と科学のアドベンチャー の実施



- ・ サミットの主要テーマである「環境」、当社事業である「エネルギー」、こどもたちが連想する未来の「科学技術」などを勘案したプログラムを組み込んだ1泊2日の移動体験学習です。
- ・ 当社では1995年に、こどもたちに実験や工作の体験を通して楽しみながら科学に親しんでもらう「おもしろ実験室」を開設し、「理科好きの心・科学する心」を培うためのプログラムを実施しています。

本体験学習では、こうした経験とノウハウが生かされています。

○ イベント内容

- ・ 「温暖化の正体を探る実験」や「森の中での自然観察」など8つのミッションに挑戦し、楽しみながら環境の大切さを学び、考えます。
- ・ イベントの名称「クエスト（QUEST）」の「探し求める」「冒険の旅」という意味を込め、アルピニスト・野口健氏を本イベントの隊長として迎え、特別講演も実施します。
- ・ 2008年6月14日（土）～15日（日）、外国人子女を含む道内在住の小中学生50名で実施します。

植樹活動

■北海道安平町での約10万本の植樹～「あびらエネモの森」と名付け9年間森づくり

- 北海道が提唱する「北海道企業の森林づくり制度」へ参加し2008年度からの5年間で約50haの土地（北海道安平町）に合計約10万本の植樹を行い、2016年までの9年間下刈りなどの森づくりを行います。
- 5月30日に、安平町、北海道の関係者のほか、ほくでんグループ社員約100人が記念植樹を行いました。
- 北海道の試算によると、サミット開催に伴い排出されるCO2量は約2.5万トン、95haの森林が30年間で吸収できる量に相当します。「あびらエネモの森」は、北海道から「サミットの森」*1の認定を受け、カーボンオフセット*2の考えに基づき、サミット開催で排出されるCO2量の約半分を相殺することとなっています。



■その他の植樹

- 5月14日、第441回ほくでんファミリーコンサート*3にあわせ、洞爺湖文化センター前にエゾヤマザクラの植樹を行いました。
- 洞爺湖町民植樹祭にて、ナナカマド・アカイタヤ100本の植樹を行いました。

北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展 2008 への出展

- ブースを3つのゾーンに分け、電気事業連合会と共同で、ほくでんグループおよび電気事業での環境への取り組みをご紹介します。
 - 『ヒートポンプを中心とした高効率機器による快適生活の紹介や電気事業の取り組み情報』
 - 『ほくでんグループの環境への取り組み』
 - 『ほくでんグループの自然保護への取り組み』
- 会場ステージでは、ゲストを迎え「温暖化と省エネについて考えよう！」と題した環境ワークショップ、「北海道大学病院ESCO事業」についての省エネルギーセミナー、「博士と助手のヒートポンプ実験ショー」と題した環境おもしろ実験などを開催します。
- 三菱自動車と当社で共同開発を行っている電気自動車「iMiEV」の試乗会も開催します。



出展イメージ図

《環境総合展とは》

サミット開催直前の6月19日から21日までの3日間、札幌ドームを会場として開催。最新の環境製品、環境技術を中心とした展示をはじめ、環境フォーラムや環境先進企業・環境団体・大学・研究機関などによるセミナー、ワークショップの開催や、未来を担う子どもたちが環境問題を考えるきっかけとなるプログラム、イベントなどさまざまな企画が予定されています。

その他の取り組み

- 北海道出身の日本画の巨匠、岩橋英遠氏の風景画を用いた英字カレンダーを4000部寄贈
(寄贈先の北海道洞爺湖サミット道民会議では、本カレンダーを来道される外国人報道関係者に配布予定)
- ほくでん社屋へのサミット歓迎横断幕の取り付け
- 電柱へのサミット歓迎バナーの設置
- 開催地周辺環境美化活動
 - 洞爺湖湖畔清掃・高所作業車による街路灯清掃
 - JR洞爺湖駅前花壇植栽の実施



『岩橋英遠氏の風景画を用いた英字カレンダー』

以上

*1 サミットの森

北海道では、北海道洞爺湖サミットで排出されるCO₂を吸収するため、サミットに向けて植樹した道内の森林54ヶ所、計97haを「サミットの森」と認定し、森林整備の協力・支援を行っています。

*2 カーボンオフセット

温室効果ガスの排出削減が困難な部分について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量を購入したり、他の場所での植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などを実施して、排出された効果ガスを相殺する考え方のこと。

*3 ほくでんファミリーコンサート

地域経済活性化への支援や社会貢献活動の一環として、クラシック音楽の生演奏を気軽にお楽しみいただこうと、1973年より札幌交響楽団による「ほくでんファミリーコンサート」を全道各地で開催。これまでに442回を数える。